



◀高梁市郷土資料館外観



『郷土資料館をリニューアル』

学生たちが展示物を整理・調査

高梁市郷土資料館(向町)で、学生たちが展示・収蔵している資料の整理、調査を行っています。

作業に取り組んでいるのは、吉備国際大学社会学部文化財修復国際協力学科学3・4年生の40人で、博物館実習の一環。市教育委員会との合同で今年度から始まりました。

中央図書館と並んで建つ郷土資料館は、市指定重要文化財で明治37年(1904)旧高梁尋常高等小学校の本館として建てられました。その後、昭和45年まで高梁北小学校の校舎として使われ、同53年にはこの建物を生かした郷土資料館として開館しました。

展示物のほとんどが、市民の皆さんからの寄贈。商家の看板、農具、蓄音機やラジオ、高瀬舟のマストや引き綱、高梁の産業を支えた麦稈真田(※)やタバコに関するものなど、3000点ほどあります。開館当初から比べると展示物がある、整理の必要に迫られていました。



分野ごとに展示物を移動

指導に当たる同大学文化財修復国際協力学准教授の小西伸彦さんは「この展示物は生活から産業まで網羅されており、学生たちにとって本物に触れることができる格好の教材ばかりです。市の学芸員や職員の方と一緒に実習することで、現場の大変さも理解してくれれば」と話されます。

同学科3年生の吉村航さん(北海道美貝市出身)は「実習は、歴史的価値のあるものに触れることができる有意義な時間。生まれ育った北海道との違いが見て取れ、歴史の深さを感じます」。また、同じく3年生の山口友美子さん(新潟市出身)は、「展示物は、昔の物が多くこれまで見たことも触ったこともないものがほとんど。以前、津和野の民俗資料館で、手に取って触って体験できたことが印象に残っています。これも、そうした体験ができるものをいくつか展示できればいいですね」と話してくれました。

ここでの作業は、地域の民俗資料を活用した実習。今後数年かけて、資料をデータベース化し、展示物には説明が付けられるなど、より観覧しやすい資料館としていく計画。学生たちは「高梁ならではの学習に目を輝かせていました」。



ふき掃除も実習の一つ

※麦稈真田…麦わらを真田紐のように編んだもの。麦わら帽子などの材料となった。

学園だより

岡山県生涯学習大学主催講座
～生活と福祉「生きがいづくり」～

県教育委員会では、県民の多様な学習ニーズに応えるため、「岡山県生涯学習大学」を開設しています。

その主催講座として、順正短期大学で専門教養コース「生活と福祉「生きがいづくり」」を実施します。日常生活に関する講座内容ですので、ぜひご参加ください。

- 会場 順正短期大学
 - 受講資格 原則として、県内に在住・勤務し、学習意欲のある人
 - 定員 40人
 - 受講料 1,000円(受講初日に集金)
 - 申込期限 7月25日(金)
- ※申込期限後でも定員に達するまでは受け付けますので、気軽にお尋ねください。
※備中高梁駅と大学間の無料バスを運行しますので、利用希望の場合はお申し出ください。

日程		講座内容・講師 (順正短期大学)
8/25 (月)	午前	人を幸せにする音楽 教授 上田 豊
	午後	今日の高齢化社会における美容の必要性 -講義の後にモデルを決めて実演- メイクアップ講師 柴田 真由美
8/26 (火)	午前	人の記憶と記憶障害(含認知症) 非常勤講師 吉田 健男
	午後	お口の健康ガイド-歯及び口腔の健康を保つ方法- 助教 太田 正美
8/28 (木)	午前	食べる・話す機能とりハビリについて -摂食・嚥下の機能を理解しよう- 准教授 福田 弘美
	午後	子どもの心を育むために-絵本等を語り合う- 講師 藤井 伊津子
8/29 (金)	午前	ネットワーク社会が引き起こすストレスから身を守る 准教授 片山 章郎
	午後	高齢者のフットケア-フットケアの実技- 講師 高杉 紘子

※午前は10:10~12:10、午後は13:10~15:10です。

■問い合わせ・申し込み 順正短期大学「岡山県生涯学習大学主催講座係(TEL) 3517)

編集後記

6月に入り、職員の服装も「クールビズ」でノーネクタイの軽装に替わりました。地球温暖化防止のために、夏のオフィスの冷房設定温度を28℃にし、軽装で快適に過ごすため、平成17年夏にスタートした「クールビズ」。冬の「ウォームビズ」とともに、だんだんと定着してきたのではないのでしょうか。6月は環境月間でもあり、今月号では「あなたもできるエコライフ」として、家庭でも取り組める10項目をご紹介します。

私も、家ではエアコンをこまめに温度調節するなど気を付けてはいるのですが、ついテレビをつけっぱなしのまま用事をしたり、せっかくなに載せているマイバックをうっかり持たずに買い物したりと、実はまだまだ徹底できていません。地球温暖化防止の取り組みは、一人ひとりのちよつとした心がけの積み重ねが大切。私もさらに、できることから心がけていきたいと思えます。

(YM)

まちの伝言板

平川土曜夜市



平川地区コミュニティ協議会
会長 中平博文さん(68)

備中町平川郷地区の中心部の市道を歩行者天国にして開かれる平川土曜夜市。地区の土地陥没事象に不安が募る中、みんなに元気になってもらおう、お互いに助け合っていくと企画したのが始まりで、今年で10回目を迎えます。夜市には、地区の皆さんが中心となつて、さまざまな夜店が出店されます。たこ焼きやバーベキューといった食べ物をはじめ、ヨーヨー釣りや金魚すくい、射的などおなじみの夜店に、ド

ジヨウのつかみ捕りといった珍しい店も人気があります。このほかに、子ども神楽や備中太鼓などの催し物、打ち上げ花火があり、1000円うちわを購入して豪華景品が当たる抽選会もあります。

「町外からのお客さんも多く、毎年にぎわいます。理屈抜きで楽しめる場にしようと、みんな準備を進めていますので、暑い夏のひとときをぜひ涼しい平川の夜市で楽しんでください」と会長の中平さん。

※詳細は次のとおりです。
▽日時：7月12日(土) 午後6時30分~午後10時(少雨決行)
▽会場：備中町平川郷地区
▽駐車場：ひらかわいこいの家運動場
■問い合わせ 同協議会事務局 泉さん(TEL) 2248)